平成26年６月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年５月８日

上 場 会 社 名	株式会社ファーストエスコ	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	9514	URL	http://www.fesco.co.jp
代　　表　　者	(役職名)代表取締役社長	(氏名)島崎　知格	
問合せ先責任者	(役職名)常務取締役	(氏名)小池　久士	(TEL)03(5299)8525

四半期報告書提出予定日　　平成26年５月14日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　　：　無

(百万円未満切捨て)

１．平成26年６月期第３四半期の連結業績（平成25年７月１日～平成26年３月31日）

（１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年６月期第３四半期	5,699	32.9	1,138	229.9	1,156	350.4	1,137	―
25年６月期第３四半期	4,287	1.3	345	51.1	256	78.0	△　11	―

(注) 包括利益 26年６月期第３四半期　1,177 百万円(　―%)　25年６月期第３四半期　　0 百万円(△99.8%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円　銭	円　銭
26年６月期第３四半期	78.16	75.65
25年６月期第３四半期	△0.78	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年６月期第３四半期	12,772	1,866	14.6
25年６月期	11,198	689	6.1

(参考) 自己資本　26年６月期第３四半期　1,860百万円　　25年６月期　　683百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
25年６月期	―	0.00	―	0.00	0.00
26年６月期	―	0.00	―		
26年６月期(予想)				0.00	0.00

(注)　直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．平成26年６月期の連結業績予想（平成25年７月１日～平成26年６月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円　銭
通期	7,200	18.8	1,200	115.8	1,100	127.7	1,200	531.6	82.47

(注)　直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

平成26年６月期通期の連結業績につきましては、業績予想の修正の必要性を認識しておりますが、新規開発中である木質バイオマス発電所の進捗により変化が予想されるため、確定後速やかに公表する予定です。

１株当たり四半期純利益につきましては、平成26年１月１日を効力発生日として、普通株式１株につき100株の割合で行われた株式分割の影響を考慮して記載しております。

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：　有

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規　２社（社名）　㈱白河ウッドパワー、アールイー大分㈱

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　有

（注）詳細は、添付資料３ページ「２．サマリー情報(注記事項)に関する事項（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年６月期３Ｑ	14,550,100 株	25年６月期	14,550,100 株
②　期末自己株式数	26年６月期３Ｑ	― 株	25年６月期	― 株
③　期中平均株式数（四半期累計）	26年６月期３Ｑ	14,550,100 株	25年６月期３Ｑ	14,550,100 株

（注）平成26年１月１日を効力発生日として、普通株式１株につき100株の割合で分割しております。株式数につきましては、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(2) 平成26年１月１日を効力発生日として、普通株式１株につき100株の割合で分割するとともに、単元株式数を100株とする単元株制度を採用しております。

※　金額単位の変更について

当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額につきましては、従来、千円単位で記載しておりましたが、第１四半期連結会計期間及び第１四半期連結累計期間より百万円単位をもって記載することに変更いたしました。なお、比較を容易にするため、前連結会計年度及び前第３四半期連結累計期間につきましても百万円単位に組替え表示しております。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）経営成績に関する説明 ……2
（２）財政状態に関する説明 ……3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 ……3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 ……3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……3
３．四半期連結財務諸表 ……4
（１）四半期連結貸借対照表 ……4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……6
（３）継続企業の前提に関する注記 ……8
（４）セグメント情報等 ……8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安・株高を背景に多くの企業で業績の改善が見られ、公共投資の増加や、消費増税前の駆け込み需要などもあり、景気回復傾向が持続しました。４月以降は消費増税後の個人消費の反動減が懸念されるものの、経済対策に伴う公共投資の押し上げ、企業向け減税や家計支援による内需の下支え、米国など堅調な海外景気を背景とする輸出環境の改善などにより景気は回復軌道となる見通しであります。

当業界においては、政府によるエネルギー基本計画の策定が難航する中、燃料価格は依然として高止まりし、企業では省エネルギー対策によるコスト削減が優先的な経営課題となっております。また、再生可能エネルギーについては原発依存への不安や、政府による推進を強調する姿勢がみられたことにより、注目度、期待度ともにさらなる高まりを見せております。

こうした状況の下、当社グループの省エネルギー支援サービス事業においては既存のオンサイト自家発電事業、業務系エスコ事業が順調に推移したほか、ＬＥＤ照明、空調設備、太陽光発電設備の設置などの新規施工案件が売上高に寄与しました。一方、第１四半期会計期間に一部プロジェクトにおいて事業スキームの見直しから将来投資回収の可能性に懸念のある資産について減損処理を実施したほか、子会社借入金の期限前返済に係る費用を特別損失に計上いたしました。また、当第３四半期会計期間において、将来のエネルギーサービス契約更新にあたり、設備費等の負担増加分を合理的に見積り、当社が負担すべき額について契約損失引当金繰入額を特別損失に計上いたしました。グリーンエナジー事業の木質バイオマス発電所においては、７月に持分法適用関連会社であった㈱白河ウッドパワーの全株式を取得、連結子会社化し、業績に大きく寄与したほか、連結に際しては、株式の段階取得に係る差益及び負ののれん発生益を特別利益に計上いたしました。再生可能エネルギー固定価格買取制度への移行後約１年が経過し順調に収益を伸ばすとともに、大分県豊後大野市では新たな木質バイオマス発電所の開発を推進しております。また、太陽光発電所を運営するソレイユ日田㈱では、当第３四半期会計期間において、設備に係る割賦契約を期日前解約したことにより営業外収益に割賦解約益を計上しております。

この結果、当第３四半期連結累計期間の業績は、売上高5,699百万円（前年同期比32.9％増）、営業利益1,138百万円（前年同期比229.9％増）、経常利益1,156百万円（前年同期比350.4％増）、四半期純利益1,137百万円（前年同期11百万円の損失）となりました。

（省エネルギー支援サービス事業）

当第３四半期連結累計期間では、既存のオンサイト自家発電事業において、いくつかのエネルギーサービス契約の満期更新が良好に進行し収益の改善が図られたほか、業務系エスコ事業も含め順調に推移いたしました。また、固定価格買取制度を背景に太陽光発電設備の施工が寄与したほか、空調設備の更新、ＬＥＤ照明、断熱塗装等の施工も堅調に推移しております。

この結果、当第３四半期連結累計期間の本事業セグメントの業績は、グループ内取引を含めた売上高では2,720百万円（前年同期比18.3％減）、外部顧客に対する売上高では2,636百万円（前年同期比2.3％減）、営業利益128百万円（前年同期比24.5%増）となりました。

（グリーンエナジー事業）

当第３四半期連結累計期間では、木質バイオマス発電所において７月に持分法適用関連会社であった㈱白河ウッドパワーの全株式を取得し、連結子会社といたしました。㈱日田ウッドパワー及び㈱白河ウッドパワーは固定価格買取制度への移行により極めて順調な業績となりました。木質バイオマス発電所

を安定的に稼働させるため木質チップ燃料の収集を行う㈱ファーストバイオスでも、制度移行後１年を経過し、未利用木材、一般木材ともに当初の予定を上回る集荷が実現し、さらなるネットワークの拡大に努めております。また、ソーラーフィールド日田太陽光発電所では予算比110％程度の発電量を得ることが出来、売上に貢献しております。こうしたことから本事業セグメントは引き続き増収増益となりました。

この結果、当第３四半期連結累計期間の本事業セグメントの業績は、外部顧客に対する売上高で3,062百万円（前年同期比86.5％増、グループ内取引を含めた売上高：前年同期比92.9％増）、営業利益1,114百万円（前年同期比192.4%増）となりました。

（２）財政状態に関する説明

当第３四半期連結会計期間末における資産合計は、収益の増加による現金及び預金の増加や、㈱白河ウッドパワー並びにアールイー大分㈱を連結したことによる各資産の増加により、前連結会計年度末から1,574百万円増加し12,772百万円となりました。

負債合計は、白河ウッドパワー連結の影響の他、短期・長期借入金の増加により前連結会計年度末から396百万円増加し10,905百万円となりました。

純資産合計は、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加があり、前連結会計年度末から1,177百万円増加し1,866百万円となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年２月６日に公表いたしました業績予想から変更しておりません。平成26年６月期通期の連結業績につきましては、業績予想の修正の必要性を認識しておりますが、新規開発中である木質バイオマス発電所の進捗により変化が予想されるため、確定後速やかに公表する予定です。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第１四半期連結会計期間より、㈱白河ウッドパワーの全株式を取得したため、連結の範囲に含めております。また、子会社アールイー大分㈱の重要性が増したため連結の範囲に含めております。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第３四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年６月30日）	当第３四半期連結会計期間 （平成26年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	535	1,276
受取手形及び売掛金	838	959
原材料及び貯蔵品	176	182
繰延税金資産	108	174
その他	327	333
貸倒引当金	△23	△21
流動資産合計	1,962	2,905
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,491	3,130
減価償却累計額	△995	△1,256
建物及び構築物（純額）	1,495	1,874
機械装置及び運搬具	15,639	16,834
減価償却累計額	△9,160	△10,341
機械装置及び運搬具（純額）	6,478	6,493
工具、器具及び備品	70	113
減価償却累計額	△59	△90
工具、器具及び備品（純額）	10	23
土地	387	571
リース資産	609	803
減価償却累計額	△302	△367
リース資産（純額）	307	436
建設仮勘定	－	60
有形固定資産合計	8,680	9,459
無形固定資産		
電気供給施設利用権	109	117
その他	2	8
無形固定資産合計	112	125
投資その他の資産		
長期前払費用	88	65
長期預け金	248	180
その他	106	34
投資その他の資産合計	443	281
固定資産合計	9,235	9,866
資産合計	11,198	12,772

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年６月30日）	当第３四半期連結会計期間 （平成26年３月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	519	609
短期借入金	130	335
1年内返済予定の長期借入金	710	650
未払金	184	101
1年内支払予定の長期未払金	1,042	902
リース債務	87	89
未払法人税等	45	243
賞与引当金	17	19
メンテナンス費用引当金	182	207
契約損失引当金	28	28
その他	222	140
流動負債合計	3,170	3,328
固定負債		
長期借入金	1,616	3,060
長期未払金	4,691	3,496
長期前受金	170	134
リース債務	245	372
資産除去債務	19	19
契約損失引当金	239	230
金利スワップ負債	103	79
長期預り金	251	183
固定負債合計	7,338	7,577
負債合計	10,509	10,905
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
利益剰余金	△197	939
株主資本合計	802	1,939
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	△119	△79
その他の包括利益累計額合計	△119	△79
新株予約権	6	6
純資産合計	689	1,866
負債純資産合計	11,198	12,772

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年７月１日 至　平成25年３月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年７月１日 至　平成26年３月31日）
売上高	4,287	5,699
売上原価	3,624	4,208
売上総利益	663	1,491
販売費及び一般管理費	318	352
営業利益	345	1,138
営業外収益		
受取利息	0	0
助成金収入	0	14
投資有価証券売却益	0	－
持分法による投資利益	50	－
割賦解約益	－	122
その他	1	5
営業外収益合計	53	142
営業外費用		
支払利息	73	87
支払手数料	－	36
貸倒引当金繰入額	55	－
その他	14	0
営業外費用合計	142	124
経常利益	256	1,156
特別利益		
新株予約権戻入益	0	－
段階取得に係る差益	－	12
負ののれん発生益	－	443
特別利益合計	0	455
特別損失		
減損損失	242	220
金利スワップ解約損	－	34
借入金中途解約損	－	28
契約損失引当金繰入額	－	59
その他	22	－
特別損失合計	265	342
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△8	1,269
法人税、住民税及び事業税	2	132
法人税等合計	2	132
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△11	1,137
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△11	1,137

四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年７月１日 至　平成25年３月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年７月１日 至　平成26年３月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△11	1,137
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	30	40
持分法適用会社に対する持分相当額	△18	－
その他の包括利益合計	11	40
四半期包括利益	0	1,177
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	0	1,177
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間(自　平成24年７月１日　至　平成25年３月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			合計
	省エネルギー支援サービス事業	グリーンエナジー事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	2,699	1,587	4,287	4,287
セグメント間の内部売上高又は振替高	630	54	684	684
計	3,329	1,641	4,971	4,971
セグメント利益	102	381	484	484

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	484
未実現利益消去	△68
全社費用(注)	△70
四半期連結損益計算書の営業利益	345

（注）　全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「省エネルギー支援サービス事業」セグメントにおいて、一部のプロジェクトにつき収益性の低下に伴い売却価値を含めた資産の評価を行い、不採算が合理的に見積もられるサイトにおいて減損処理をいたしました。

なお、当該減損損失の計上額は、当第３四半期連結累計期間においては、242百万円であります。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間(自　平成25年７月１日　至　平成26年３月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			合計
	省エネルギー支援サービス事業	グリーンエナジー事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	2,636	3,062	5,699	5,699
セグメント間の内部売上高又は振替高	83	―	83	83
計	2,720	3,062	5,783	5,783
セグメント利益	128	1,114	1,242	1,242

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	1,242
未実現利益消去	△13
全社費用(注)	△90
四半期連結損益計算書の営業利益	1,138

（注）　全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．報告セグメントごとの資産に関する情報

第１四半期連結会計期間において、㈱白河ウッドパワーの全株式を取得し、連結の範囲に含めたことにより、前連結会計年度の末日に比べ「グリーンエナジー事業」セグメント資産が1,793百万円増加しております。

４．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「省エネルギー支援サービス事業」セグメントにおいて、一部のプロジェクトにつき収益性の低下に伴い売却価値を含めた資産の評価を行い、不採算が合理的に見積もられるサイトにおいて減損処理をいたしました。当該事象による減損損失の計上額は、当第３四半期連結累計期間においては220百万円です。

「グリーンエナジー事業」セグメントにおいて、㈱白河ウッドパワーの全株式を取得し連結子会社化いたしました。当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第３四半期連結累計期間においては443百万円です。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

㈱白河ウッドパワーの全株式を取得したことによる、段階取得に係る差益及び負ののれん発生益の計上により利益剰余金が455百万円増加しております。